

令和6年度 算数科 授業改善推進プラン

大田区立羽田小学校

Ⅰ 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・四則計算は繰り返し学習し、やや定着してきた。
- ・図形の学習では、具体物を用いたり作図したりなど、手を動かして体験することで理解が深まった。
- ・文章題については、必要な情報を捉えられるよう重点的に指導し、定着しつつある。

(2) 課題

- ・データと活用では、二次元表や円グラフ等、学年が上がるにつれ、課題が見られた。
- ・数と計算では、小数の計算や分数の計算に課題がある。
- ・学年が上がるにつれて、達成率が下がっている。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第4学年	▽		
第5学年	▽	・目標値と同等程度である。 (第4学年時)	
第6学年	▽	▽ (第5学年時)	▽ (第4学年時)

(2) 分析(観点別)

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・たし算、引き算、かけ算の基礎的な計算はできている。わり算の計算には課題が見られる。 ・大きい数では、小数の大小や数直線上の分数を読み取ることに課題がある。	・□を使って乗法の式に表わすことや式にあった文章を選ぶことに課題がある。	・棒グラフを正しく読み取ることができる。 ・二等辺三角形の作図に課題がみられる。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・立方体の展開図で重なる辺や垂直の関係などが理解できている。 ・小数の計算、分数の計算に課題がある。	・小数の文章問題の立式や図の構造の理解に課題がある。 ・与えられた情報を読み取り、問題を解決することに大きな課題がみられる。	・面積の単位や複合図形の求め方の理解ができている。 ・小数や分数の数の仕組みについての理解に課題が見られる。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・たし算、ひき算、かけ算などの数の概念について、具体物や図などを用いて学習することで基礎的、基本的な技能の定着を図る。	・問題に沿って、具体物を操作したり簡単な図を書いたりして学習を進め、理解をしていく。	・フラッシュカードなどを活用し、ゲーム感覚で楽しみながら繰り返し学習できるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・小数や分数の数の構成について、具体物を操作したり図や数直線で表わしたりする活動を取り入れ理解ができるようにする。 ・わり算の計算では、筆算の手順を繰り返し練習し習熟を図る。	・授業の初めに、前時の学習の振り返りを行い、本時の学習に向かうことで、既習事項から考えることができるようにする。 ・基本的な解き方を、言葉で説明できるようにする。	・三角定規や分度器、コンパスなどの用具の使い方が確実にできるようにする。 ・学習のめあてを明確にして、児童が自分がめあてを達成したか分かるようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・小数や分数について、数直線や図を用いて理解ができるようにする。 ・小数や分数の計算が確実に身につくように繰り返し練習する時間を設ける。	・授業の初めに、前時の学習の振り返りを行い、本時の学習に向かうことで、既習事項から考えることができるようにする。 ・文章題では、立式に必要な情報、数字や演算決定となる言葉を繰り返し指導し読み取れるようにする。	・学習のめあてを明確にして、児童が自分がめあてを達成したか分かるようにする。できた分かった経験ができるように授業を組み立てる。